



平成25年11月20日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ デ ィ ア ド ウ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 田 恭 嗣  
(コード番号：3678 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 大 和 田 和 恵  
( TEL . 0 5 2 - 2 2 2 - 3 3 3 5 )

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成25年11月20日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【単体】

(単位：百万円・%)

項 目	平成26年 2 月 期 (予想)		平成26年 2 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (実績)		平成25年 2 月 期 (実績)		
	構成比	対前期増減率	構成比		構成比		
売 上 高	5,480	100.0	34.1	2,555	100.0	4,086	100.0
営 業 利 益	250	4.6	557.7	107	4.2	38	0.9
経 常 利 益	215	3.9	581.0	105	4.1	31	0.8
当 期 ( 四 半 期 ) 純 利 益	171	3.1	—	71	2.8	4	0.1
1株当たり当期(四半期)純利益	86円26銭		38円52銭		2円45銭		
1株当たり配当金	—		—		—		

(注) 1. 当社は子会社がありませんので連結財務諸表を作成しておりません。

2. 当社は、平成25年9月14日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。上記では平成25年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。

3. 平成25年2月期(実績)及び平成26年2月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。平成26年2月期(予想)の1株当たり当期純利益は公募株式数(270,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

ご注意：この文書は、当社の新株式発行並びに株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

## 平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月20日

上場会社名 株式会社メディアドゥ 上場取引所 東  
 コード番号 3678 URL http://www.mediado.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 恭嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 大和田 和恵 TEL 052 (222) 3335  
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第2四半期の業績 (平成25年3月1日～平成25年8月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	2,555	—	107	—	105	—	71	—
25年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	38.52	—
25年2月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成25年2月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年2月期第2四半期の記載及び平成26年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、平成26年2月期第2四半期において当社株式は非上場であるため期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は、平成25年9月14日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が当会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	1,741	512	29.4
25年2月期	1,491	329	22.1

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 512百万円 25年2月期 329百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年2月期の業績予想 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,480	34.1	250	557.7	215	581.0	171	—	86.26

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 平成26年2月期の業績予想の1株当たり当期純利益は公募株式数(270,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	1,960,000株	25年2月期	1,834,600株
26年2月期2Q	－株	25年2月期	－株
26年2月期2Q	1,960,000株	25年2月期2Q	－株

(注) 1. 当社は、平成25年2月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年2月期第2四半期における期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。

2. 当社は、平成25年9月14日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数につきましては、当該分割が前会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績等の見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、長引くデフレに加え、欧州における債務問題や新興国成長鈍化の影響もあり、依然として不透明な状況が続いているものの、新政府の経済対策や日銀の金融政策への期待感から円安・株高が進行し、個人消費や企業業績の一部に持ち直しの動きが見られ、景気回復に向けた期待感が高まりつつあります。

当社を取り巻く事業環境におきましては、スマートフォンやタブレットユーザーの増加や、楽天Kobo、米国アマゾン社のKindle等の海外事業者の参入をきっかけとして一般消費者への認知が広がっていること、コミックを中心としたタイトル拡充等の要因で電子書籍市場は急成長を見せており、その結果、平成24年度の電子書籍市場は729億円（出所：インプレスR&D インターネットメディア総合研究所）と推測され、前年度の629億円から100億円（15.9%）増加しております。ケータイ向け電子書籍市場の落ち込みを上回るほど、新たなプラットフォーム向け電子書籍市場が急激に拡大し、平成22年度から平成23年度で一時的に落ち込んだ電子書籍市場規模は、再び拡大基調へ転じています。

このような外部環境の中、当社の主力事業である電子書籍事業において、既存サービスの拡充や新規アライアンス先との共同事業によるスマートフォン向け新規サービス立ち上げによって、業務の拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、2,555,584千円、経常利益は105,159千円、四半期純利益は71,512千円となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (電子書籍事業)

既存の大手電子書店スマートフォン向け売上に加え、平成25年4月にリリースされた「LINEマンガ」等、大型電子書店への電子書籍取次の増加により売上は大きく伸びました。

その結果、売上高は2,088,788千円、セグメント利益は86,309千円となりました。

#### (音楽・映像事業)

新規でスマートフォン向け音楽配信サイト「DANCEHALL.JP」および「ガールズサミット」など新たなスマートフォン向けサービスを立ち上げました。

その結果、売上高は286,032千円、セグメント利益は26,239千円となりました。

#### (ゲーム事業)

前期に新規でゲームタイトルを追加しましたが、ソーシャルゲーム市場競争激化により、売上の伸長は鈍化しました。

その結果、売上高は124,257千円、セグメント損失は3,797千円となりました。

#### (その他事業)

ニュース・情報系携帯電話サイト運営代行およびサイト内広告枠の専属取扱を引き続き行ってまいりました。

その結果、売上高は56,504千円、セグメント損失は1,678千円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ250,289千円増加し、1,741,624千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ売掛金が93,949千円増加したことにより1,414,866千円となりました。固定資産は、投資その他の資産が前事業年度末に比べ21,128千円増加した一方で無形固定資産が23,427千円減少したことにより326,758千円となりました。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ66,726千円増加し、1,228,849千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ短期借入金が210,000千円減少した一方で買掛金が270,075千円、未払金が24,245千円増加したことにより1,208,657千円となりました。固定負債は、前事業年度末に比べ42,216千円減少し、20,191千円となりました。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ183,562千円増加し、512,775千円となりました。これは、資本金及び資本準備金がそれぞれ56,025千円増加したことと四半期純利益71,512千円を計上したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当期（平成26年2月期）につきましては、当社の主力事業である電子書籍市場は、スマートフォンやタブレットユーザーの増加や、楽天Kobo、米国アマゾン社のKindle等の海外事業者の参入をきっかけとして一般消費者への認知が広がっていること等により、拡大基調となっております。

このような事業環境において、当社といたしましては、中長期的視野に立ったシステム強化に取り組んでまいりますとともに、コンテンツラインナップの充実・既存の取引電子書店へのコンサルティング営業などによる電子書籍コンテンツの販売量の拡大・顧客企業と共同で事業展開を行うアライアンス型の電子書店の立ち上げ・独占的なコンテンツ供給による新たな販売網の構築を図ること等により、電子書籍事業の拡大に努めてまいります。

以上のことから、平成26年2月期の業績予想につきましては、売上高は5,480,499千円（前年同期比34.1%増）、営業利益は250,645千円（同557.7%増）、経常利益は215,005千円（同581.0%増）、当期純利益は171,008千円（同3,3709.9%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年 8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	159,870	328,646
売掛金	948,916	1,042,865
商品	239	13
貯蔵品	76	252
前払費用	41,302	38,435
繰延税金資産	16,086	18,678
その他	9,330	5,708
貸倒引当金	△20,120	△19,732
流動資産合計	1,155,701	1,414,866
固定資産		
有形固定資産		
建物	28,362	28,362
減価償却累計額	△17,605	△18,767
建物（純額）	10,757	9,595
工具、器具及び備品	243,895	241,412
減価償却累計額	△227,693	△230,625
工具、器具及び備品（純額）	16,202	10,787
有形固定資産合計	26,959	20,383
無形固定資産		
ソフトウェア	157,247	132,094
コンテンツ	63,148	66,548
その他	2,776	1,101
無形固定資産合計	223,172	199,744
投資その他の資産		
投資有価証券	—	10,500
出資金	0	0
長期前払費用	3,905	3,285
繰延税金資産	37,888	48,301
差入保証金	43,708	44,543
投資その他の資産合計	85,502	106,630
固定資産合計	335,633	326,758
資産合計	1,491,335	1,741,624

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	613,045	883,120
短期借入金	210,000	—
1年内返済予定の長期借入金	84,696	86,016
未払金	107,683	131,928
未払法人税等	17,991	48,832
未払消費税等	25,826	15,240
預り金	5,176	5,130
ポイント引当金	34,822	38,108
その他	472	279
流動負債合計	1,099,713	1,208,657
固定負債		
長期借入金	58,098	15,850
資産除去債務	4,310	4,341
固定負債合計	62,408	20,191
負債合計	1,162,122	1,228,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	310,538	366,563
資本剰余金	14,185	70,210
利益剰余金	4,488	76,001
株主資本合計	329,212	512,775
純資産合計	329,212	512,775
負債純資産合計	1,491,335	1,741,624



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	2,555,584
売上原価	2,053,318
売上総利益	502,265
販売費及び一般管理費	395,191
営業利益	107,073
営業外収益	
受取利息	29
その他	16
営業外収益合計	46
営業外費用	
支払利息	1,954
その他	6
営業外費用合計	1,961
経常利益	105,159
特別損失	
固定資産除却損	22
特別損失合計	22
税引前四半期純利益	105,136
法人税、住民税及び事業税	46,629
法人税等調整額	△13,005
法人税等合計	33,623
四半期純利益	71,512

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	105,136
減価償却費	130,789
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△388
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	3,286
受取利息	△29
支払利息	1,954
固定資産除売却損益 (△は益)	22
売上債権の増減額 (△は増加)	△79,599
たな卸資産の増減額 (△は増加)	50
前払費用の増減額 (△は増加)	2,551
長期前払費用の増減額 (△は増加)	1,184
仕入債務の増減額 (△は減少)	270,075
未払金の増減額 (△は減少)	21,787
預り金の増減額 (△は減少)	△46
未払法人税等の増減額 (△は減少)	△2,553
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△10,192
その他	△11,136
小計	432,893
利息及び配当金の受取額	29
利息の支払額	△1,607
法人税等の支払額	△13,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	418,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,291
無形固定資産の取得による支出	△97,059
投資有価証券の取得による支出	△10,500
差入保証金の差入による支出	△835
その他	△742
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△210,000
長期借入金の返済による支出	△40,928
株式の発行による収入	112,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	168,776
現金及び現金同等物の期首残高	159,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	328,646

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第2四半期累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	電子書籍 事業	音楽・映像 事業	ゲーム事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,088,788	286,032	124,257	56,504	2,555,584	—	2,555,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,088,788	286,032	124,257	56,504	2,555,584	—	2,555,584
セグメント利益又は損失(△)	86,309	26,239	△3,797	△1,678	107,073	—	107,073

(注) セグメント利益又は損失(△)は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。